

大阪自然史フェスティバル2023 シンポジウム

11/19 (日)
10時～12時半

OSAKAベイエリアに いのち輝く自然を取り戻すために

場所：大阪市立自然史博物館・講堂（入場無料）
定員：先着170名（予約不要）

Live中継・アーカイブ配信あり
大阪市立自然史博物館のYouTubeで！



シンポジウム内容（敬称略）

ビデオレター上映

●リチャード・グリメット

（国際環境NGO「BirdLife International」）

ミニ講演

●山西良平（西宮市貝類館 顧問）

「大阪湾の自然再生に向けて～海岸生物 ウェルカリストの試み」

●夏原由博（大阪自然環境保全協会 会長）

「ランドスケープから見た夢洲」

●渡邊綱男（IUCN（国際自然保護連合）日本委員会 会長）

「自然共生：世界の動向と夢洲・大阪湾の保全・回復」

パネルディスカッション

ファシリテーター／佐久間大輔（大阪市立自然史博物館 学芸課長）

登壇者／山西良平・夏原由博・渡邊綱男・

八元綾（近畿地方環境事務所 統括自然保護企画官）・寺川裕子（NPO共生の森理事）

総合司会：エミリー・ルトゥゼイ（保全協会会員・大阪大学人類学研究室博士研究員）

主催：公益社団法人 大阪自然環境保全協会 夢洲生きもの調査グループ

問合せ先 yumeshima@nature.or.jp

後援：（公財）日本自然保護協会・（公財）WWFジャパン・（公財）日本野鳥の会・

日本野鳥の会大阪支部・NPO法人AMネット・NPO地域づくり工房

2023年、今年も工事中の夢洲で、セイタカシギの新しい命が複数誕生しました。

生物多様性のポテンシャルの高い夢洲を中心に、大阪でネイチャーポジティブをすすめ、持続可能な大阪の創造のために30by30や自然共生サイトの果たす役割について学びます。

このシンポジウムは2023年度環境再生保全機構 地球環境基金の助成を受けています。
助成名「SDGs万博市民アクション」

